



公益財団法人

石川県

成人病予防センター
だより

[第45号]

いしかわ成人病予防センターだより

第45号〔2023年〕

発行日 令和5年(2023年)2月発行

金沢市鞍月東2丁目6番地

電話 (076) 237-6262

FAX (076) 238-9207

郵便番号920-8201

E-mail smile@kenshin-ishikawa.or.jp

URL https://www.kenshin-ishikawa.or.jp/



国立工芸館 画像提供：金沢市

ごあいさつ

公益財団法人

石川県成人病予防センター

理事長 中泉 治雄

新年あけましておめでとございます。

令和4年を表す漢字は「戦」でした。

欧州では、戦闘状態があり、日本国内ではコロナ禍、オミクロン株への対応に振り回されたところでした。

令和5年は卯年です。

兎の足には、猫におなじみの肉球がなく、毛でおおわれています。

雪兎は新雪の中でも、危険を察知すると猛ダッシュをします。

時速30km以上で走ることが可能とのことです。

当石川県成人病予防センターでは、新しくマンモグラフィ撮影装置を2基搭載した大型検診バスを導入しました。女性の乳がん罹患が40代から増えています。日本では、45歳と70代にピークがある二峰性での罹患率の高さを認めましたので、子育てが終わったら乳がん検診を受けましょう。をテーマに乳がん検診の受診を勧めているところです。

コロナ関連の諸般の事情で、一昨年は検診受診率が8割台に低下しましたものの、昨年には9割台に盛り返して来たところでした。また、コロナの新株が米国で発見されているようですが、個人を守る方法は、今までと特に変わりはないようです。忍び寄る第8波を乗り越え、飛躍の年にしましょう。

健診スタッフに聞きました。シリーズ⑥

健診普及課

私たち健診普及課は保健師・看護師で組織され
パート医療職や事務スタッフの方々と共に
石川県内を健診バスで巡回しています

スタッフの体調も確認



健診当日 6:45

朝のミーティング 今日では金沢市内の健診、健診項目や流れを確認

スタート



事前の準備

2~3日前に採血管の作成や必要物品を用意。診察医に確認の連絡をします



採血

リラックスして受けて頂けるように、お声かけをしながら行っています



内科診察

いつも先生方にはご協力を頂きありがとうございます



終了 14:30

後片づけ・担当者様に挨拶をして帰ります



聴力・視力検査

職域健診では、聴力・視力検査も行います

コロナ禍においても安全で安心、質の高い健診をご提供する様に努めてまいります





7:30

現地に到着し、ご挨拶をすませ所定の位置に駐車



7:00

機材を積み込み出発します



健診開始 8:00

血圧測定

会議室をお借りして健診会場を作ります



尿検査

見えない様にお手製の簡易つい立てをします

ゴール



検体（血液）を検査機関に受け渡し。依頼項目・検体本数を再度確認します



心電図の波形を再度確認。検体（血液）搬入ノートを記入します



帰社 15:00

受診項目の漏れや記入ミス等ないか確認

令和3年度の状況

県内8市町の住民健診（約8,700人）・職域健診（約19,500人）等で年間およそ30,000人の方とお会いしました。

コロナ禍での健診も3年目。健診スタッフや受診者の体調チェック、お一人毎の消毒・3密を避ける為の会場の配置・換気・時間予約等、ウィズコロナにも慣れてきました。

これからも安全で安心、質の高い健診をご提供する様に努めてまいります。

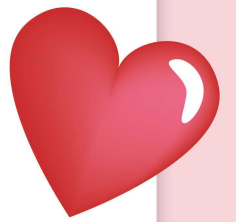
特定健診等精度管理委員会の発足

2019年2月に第1回特定健診等精度管理委員会を発足しました。

石川県医師会・保健所・学識経験者等の先生方により専門的な見地から精度管理についてご検討頂いております。

マンモグラフィ検診車

ほほえみ12号



令和4年度 新しいマンモグラフィ検診車ができました。当センター初、マンモグラフィ装置を2基搭載した検診車です。これにより1台の駐車スペースで2倍の人数が撮影ができます。

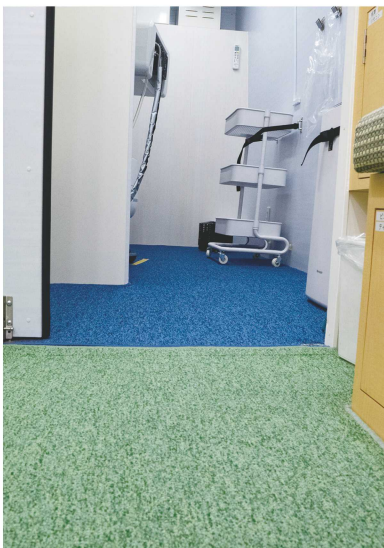
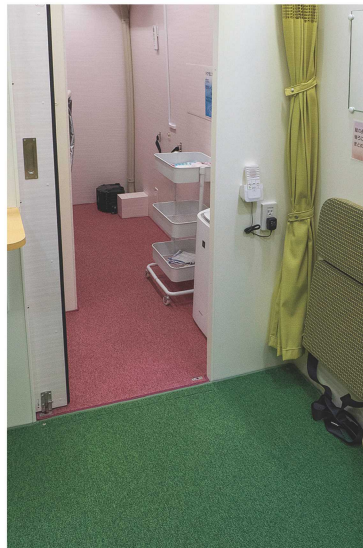
待合室

カーテンで仕切られた個室になっており、周りを気にせずに準備をいただけます。また、汗拭きやヘアゴムも置いてあります。



フラットな室内

車内は段差をなくしフラットな床面。換気扇や除加湿空気清浄機を設置し、気持ちよく過ごせるよう努めています。



車体外装には…

乳がんを命を落とすことがないよう、みんながほほえんで暮らせるようにという願いを込めたほほえみ号に大きなピンクリボンを描きました。もし、この検診車が走っているのを見かけたら、今一度ご自身の健康について考えてみてください。そして、定期的に乳がん検診を受けましょう。

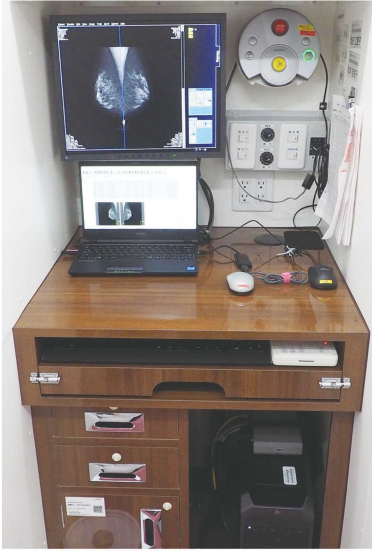


撮影装置

SIEMENS MAMMOMAT Fusion

検診に最適化されたデジタルマンモグラフィ装置です。

特徴の一つに、個々の乳房に応じて最適な圧迫で一旦停止するしくみがあり、過度な圧迫をしない助けになっています。



撮影室

待合室の左右に撮影室があります。検診車に乗った順に空いた方へご案内します。

撮影室は左右対称に作られています。部屋の色調を変え、違った雰囲気になっています。どちらに入るかお楽しみに。



出入り口

昇降口には、左右に手すりを設け、雨よけのネットも装備しています。

また、暗いときに足下を照らす照明も取り付けました。





珠洲市
すずし
SUZUSHI CITY

わが町のがん検診

珠洲市健康増進センター

正司 絵里

写真提供：石川県観光連盟

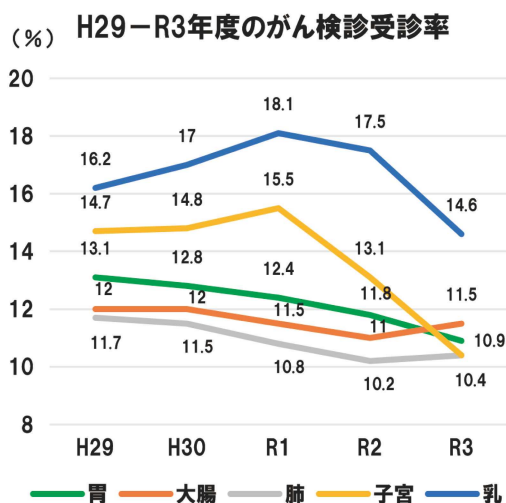
○市の概要

珠洲市は石川県の北部、能登半島の先端に位置する市で、荒々しい岩礁海岸の外浦と、波穏やかな砂浜の内浦という二つの海を持つ、自然豊かな景観が自慢です。豊かな自然の中で育まれた固有の文化も多く、製塩業や珠洲焼などの伝統産業のほか、「飯田燈籠山祭り」や農耕儀礼「あえのこと」をはじめとする各地のお祭りなどの地域文化が受け継がれています。

総面積2472km²、令和4年11月末現在の人口は12,980人、年少人口割合は6.7%、高齢化率は51.1%、令和2年における高齢化率は県内1位で少子高齢化が進んでいます。

○珠洲市のがん検診と受診率

平成29年～令和3年の受診率はグラフのとおりです。
種類：胃、大腸、肺、子宮頸、乳



実施期間：集団検診 6～11月
医療機関 6～12月

○コロナ禍でのがん検診の現状

本市では、従来から申込はがきまたは電話による事前申込制にしています。コロナ禍の令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症対策のため1日の受診人数や受付時間を制限して行っています。

また、会場内の動線も人が交差しないよう、これまで1つの大きな部屋で問診や料金徴収など行っていました。1階玄関ホールで受付を行い、2階で問診、料金徴収後、1階で検診を受け、会場全体を1周する形に変更しました。対象者は高齢の方が多いので、会場を1周していただくことに不安もありましたが、大きな混乱も起きることなく、中には「時間指定となったことで待ち時間が少なくなりよかったです」などの声が聞かれ安堵しました。

○がん検診・精密検査受診率向上の取り組み

【がん検診】

- ・特定健診と各がん検診をまとめて受けられる集団総合健診の実施
 - ・特定の年齢の方に封書やはがき、電話で受診勧奨
 - ・広報、ホームページ、ケーブルテレビで周知
 - ・医療機関における胃内視鏡検診の導入（対象：50～69歳）
 - ・レディース検診の実施
- 毎年、がん検診の受診率向上対策として様々な取り組みを行っています。今年度は新たに医療機関

における胃内視鏡検診の導入と、レディース検診日を設けました。特に、レディース検診日については、若い世代の女性にも「気軽に」「負担は少なめに」受診しやすい環境を作りたくと考え、予約制の託児サービスの実施や、検診終了後心身共にリフレッシュしていただけるように無料で参加できる運動教室・アロママッサージ教室なども設けました。多くの参加者に大変好評で、来年度以降も継続して行いたいと考えています。

レディース検診を実施する上で、会場の動線を変更しましたが、石川県成人病予防センターの方々には柔軟に対応していただき、無事実施することができました。

【精密検査】

本市では、ハイグレード判定された方については、地区担当者が至急訪問や来所などで直接お会いし受診勧奨をしています。また、精密検査未受診者については、電話で受診勧奨を行っています。これらの精密検査未受診者対策を行っていますが、精密検査率は、国が掲げる目標値90%を下回る状況であります。

○今後の展望

がん検診受診率はコロナ禍前とまではいきませんが、令和4年度の受診率は令和3年度に比べ、微増となりそうです。今後も途切れることなくがん検診・精密検査を受診していただけるよう、受診勧奨及び感染対策に努めていきたいと思っております。

石川県成人病予防センターの方々には今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

複十字シール運動

結核予防会では、結核を中心とした肺の病気をなくして、健康で明るい社会を作るため、複十字シール運動を行っています。

複十字シール運動は、複十字シールを媒体とした募金活動で、結核撲滅を目的に世界各国で行われています。

日本では、各都道府県の結核予防会支部や女性組織が中心となって複十字シール運動を行っています。



2021年度全国募金総額 1億6,950万円
2021年度石川県支部募金総額 868千円

(皆様方のご厚志は、下記のとおりにご利用させていただきました。)

石川県支部募金額の活用内訳

- 調査、研究、国際協力として
- 啓発活動（街頭啓発活動）
- 事務経費

寄付型自販機を設置しました

2022年10月に、寄付型自動販売機が設置されました。

自販機の飲料売上の一部が複十字シール募金として日本と世界から結核をなくすための活動や、肺がん・COPD（慢性閉塞性肺疾患）の啓発活動に寄付されます。

当センターの玄関ホールに設置しておりますので、お立ち寄りの際はぜひご利用ください。



複十字シール運動をPR

令和3年度は新型コロナウイルス感染症による、まん延防止等重点措置のため、11月末に行った副知事表敬訪問ですが、今年度は複十字シール運動が始まる8月1日に実施することができました。

石川県婦人団体協議会からは能木会長と東事務局長、当センターからは青木専務理事と山崎管理部長が県庁副知事室を訪れ、西垣副知事に、結核の現状と複十字シール運動について説明し、複十字シール運動への協力をお願いしました。



がん征圧のための会員募集（日本対がん協会石川県支部）

会費及び寄付金は、がんに関する啓発普及のための講演等や機関誌発刊、ポスター・リーフレットの配布、街頭啓発活動などの啓発事業に活用していません。皆様のご協力をお願いします。



会員の種類

- 維持会員（単年度会員）
会費一口 1,000円
- 特別維持会員（単年度会員）
会費一口 3,000円
- 法人会員（単年度会員）
会費一口 5,000円
- 特別法人会員（単年度会員）
会費一口 10,000円

寄付金

快気祝い、還暦、古希などのお祝いに際してのご寄付、香典返しに代えてのご寄付など。

かなざわピンクリボンプロジェクト

「ピンクリボン・メッセージウォーク」

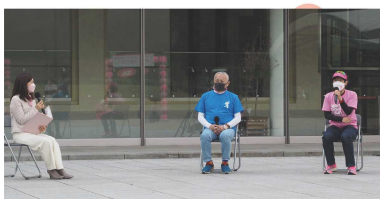
3年ぶりにピンクリボン・メッセージウォークが開催されました。

コロナウイルス感染症の影響で中断していたピンクリボン・メッセージウォークですが、受けよう乳がん検診 守ろうあなたの未来 をテーマとして10月23日(日)に開催しました。

雨が心配された1日でしたが、幸い朝から晴れ間も多く、たくさんの方々が参加されました。

ウォーク前にはプロジェクト委員長の吉野先生と北陸大学薬学部教授で、金沢骨を守る会の代表をされている三浦雅一先生のトークセッションがあり、乳がん後の骨粗鬆症対策等について話し合われました。

午後には激しい雨風となりましたが、ウォークが終了し、撤収作業が終わるまでは天気が持ちこたえてくれ、無事メッセージウォークを終えることができました。

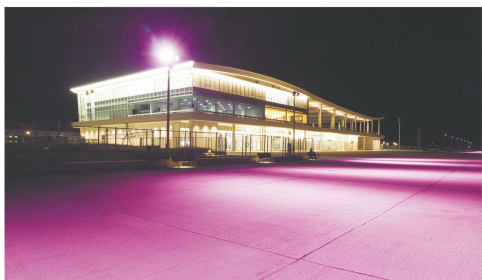


「メッセージツリー・メッセージライトアップ」

今年度もリレー・フォー・ライフ石川とかなざわピンクリボン・プロジェクト合同でメッセージツリーの設置とメッセージライトアップを実施しました。

昨年は、9月のがん征庄月間に併せて実施していましたが、毎年10月が乳がん月間であることから10月開催とし、10月1日からメッセージウォークが開催された10月23日までの間、金沢港クルーズターミナルでの実施となりました。また、しいのき迎賓館でもピンクリボン・メッセージウォークに併せて10月23日にメッセージツリーを設置し、たくさんの方々からのメッセージをいただきました。

メッセージライトアップは、しいのき迎賓館では10月17日から10月23日にかけて、金沢港クルーズターミナルでは10月20日から10月22日にかけて実施しました。



編集後記

冒頭の理事長挨拶で、2022年「今年の漢字」に「戦」が選ばれたことが紹介されています。これはウクライナ情勢、コロナウイルスとの戦い、オリンピックやワールドカップなどのスポーツでの戦いが選定理由とのこと。

第2位ですが、国内外の情勢から安全、安心が脅かされ不安を感じるという理由で、「安」が僅差で選ばれています。

また、小学生からの応募で1位になったのは、楽しかったとのこと、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され、楽しい出来事が増えたという内容が多くみられたことです。

私たちには、「戦」を終わらせる力などはありませんが、がん検診・健康診断を通してたくさんの方々へ安全、安心をご提供したい、そうすることで子供たちの楽しみを増やしていくことができたらなあ、なごと思ふ今日この頃です。